

平成 2 6 年度  
横浜市立南高等学校

自己評価書

横浜市立南高等学校

## <学校情報>

1 課程・学科 単位制及び学年制による全日制普通科

2 学校長 鈴木 英夫 (平成27年4月1日現在 在職3年目)

### 3 学校教育目標

- 学びへの飽くなき探求心の育成
- 自ら考え、自ら行動する力の育成
- 未来を切りひらく力の育成

### 4 教育方針

- 学力の充実 学び続ける態度の育成
- 豊かな心・健康な身体・生きる力の育成
- 進路ガイダンスの充実
- 積極的生徒指導と教育相談

### 5 教職員数 (平成26年12月1日現在)

学校長 1 校長代理 1 副校長 2 事務長 1  
教諭 48 (男28、女20) 養護教諭 2  
実習助手 2 事務職員 3 技能職員 4  
A E T 1 非常勤講師 5 管理員 4

### 6 生徒在籍数 (平成26年12月1日現在)

年次(学年)	学級数	男子	女子	合計
1	5	116	82	198
2	5	103	91	194
3	5	85	111	196
4				
合計	15	304	284	588

### 7 回収率

		依頼数	回答数	回収率
教職員		60	60	100%
生徒	1年	198	192	97.0%
	2年	194	185	95.3%
	3年	196	184	93.9%
	4年			
	合計	588	561	95.4%
保護者		588	516	87.8%

## 8 自己評価実施日

教職員	平成26年10月20日～平成26年11月2日
生徒	平成26年11月5日～平成26年11月11日
保護者	平成26年11月5日～平成26年11月11日
地域	平成26年11月22日～平成26年12月17日

## 9 集計・分析期間

平成26年10月22日～平成27年1月21日
------------------------

## 10 自己評価書の公表方法・時期

平成27年5月下旬までに、HP上で公表する。

1 横浜国立高等学校教育振興プログラムの推進状況

「特色ある高校づくりのための使命」

- 幅広い年齢集団で行われる教育活動により人間性を涵養する学校
- 質の高い主体的な学習活動を展開して、より高い学力を育む学校
- 他を思いやる豊かな心を育み、将来のリーダーとなる素養を育成する学校

■特色ある学校づくりの推進状況

(関連アンケート番号:生徒-2, 3, 4, 5、生徒授業評価-全項目、保護者学校評価-1, 2, 4, 6, 8、地域-1, 2, 7, 8, 9、教職員-1, 2, 3, 4, 5, 6)  
教職員、生徒、保護者)

取組	<p>① 教育振興プログラム重点施策1「中高一貫教育校の設置」等に示された使命の目標の達成に向けて取り組んできた。</p> <p>② 来年度、中高一貫の一期生が入学する。その入学生のための新しい教育プログラムを作成した。プログラムの内容は、「TRY&amp;ACT」、夏季補習、模擬試験の解説、APU研修や海外研修の実施計画などである。</p> <p>③ 附属中からの進学に伴い、現状の教育課程から変更を行い、高等学校の全科目の学習内容(シラバス)を説明する冊子「学習の内容」を作成した。</p> <p>④ 中学生とその保護者向けに学校説明会を4回実施した。</p>
成果	<p>① 大学、企業、研究機関と連携して、平成27年度以降の中高をつなぐ総合的な学習の時間を企画し、一部試行的に実施することができた。</p> <p>② 附属中学校の3年生全員が、南高等学校への進学を決定した。</p> <p>③ 冊子内容を説明し、高校学習内容への理解が深まった。</p> <p>④ 説明会の中で、本校の特色や施設・設備、現在の部活動の様子などを中学2・3年生の生徒とその保護者に紹介することができた。</p>
課題	<p>① 平成27年度以降の総合的な学習の時間の内容の充実と、関係機関・附属中学や各分掌との連絡調整を行っていく必要がある。</p> <p>② 本校では、初めての計画も多く、実施段階でいろいろな課題が生ずると考えられ、その課題に対応する必要がある。</p> <p>③ 附属中学からの入学生は、非常に高い学力をもって入学してくる。そのような生徒に対する学習指導や学習内容の研修が必要である。</p> <p>④ 実施時期や平成27年度から取り組むT&amp;A(本校で行われる総合的な学習の時間を見学してもらえるように工夫していく必要がある。</p>

<b>改善策</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 企画研究部の定員の増加と職務の整理・マニュアル化を行う。</li><li>② 62期準備委員会を中心に、継続的に実施計画の作成を綿密に行う。</li><li>③ 生徒の状況に合わせて、学習内容の見直しを進める。また、YGLに向けて、他の学年でもこれを進める。</li><li>④ 生徒の活動に沿った説明会を設定して実施する。</li></ul>
------------	--

## 2 教育活動の状況

### ■進路指導に關しての状況

(関連アンケート番号：生徒-1, 3, 9, 10, 11、生徒授業評価-1, 2, 3、保護者-1, 2, 3, 4, 5、地域-1, 2, 7, 8, 9、教職員-1, 2, 3, 4, 5, 6)

<p>取 組</p>	<p>① 各学年、年次で教員による保護者進路説明会、河合塾の講師による保護者進路説明会を実施している。また、三者面談においても、模擬試験のデータを活用した受験指導、学習指導の徹底を図った。</p> <p>② 進路ガイダンス、進路相談等を行い、生徒の進路に対する意識を高めた。また、生徒の希望進路実現のための手段として模擬試験、夏期講習、冬期講習、サテライト講座、大学別説明会、大学の分野別説明会、高大連携授業などを実施した。</p> <p>③ 3年生は年6回の模擬試験、2年生は年3回の模擬試験と年1回のスタディーサポート、1年生は模擬試験とスタディーサポートをそれぞれ2回実施し、そのデータを受験指導、最終的な受験校の決定に活用した。</p> <p>④ 進路ガイダンス、進路相談等の実施。学校見学、オープンキャンパスに関する情報を生徒に提供することにより、生徒の上級学校に対する意識を高めた。</p>
<p>成 果</p>	<p>① 保護者に対して的確な進路情報を提供することができた。</p> <p>② 生徒の進路に対する意識を高めることができた。</p> <p>③ 3年生については、模擬試験のデータを受験指導に活用し、受験校決定などに役立てた。1、2年生については、模擬試験、スタディーサポートのデータを使用し学習習慣の定着、学習計画の作成などに利用した。</p> <p>④ 生徒の進路に対する興味、関心、知識を高める事ができた。</p>
<p>課 題</p>	<p>① 保護者進路説明会、三者面談において保護者が強い関心を持ち、満足できる内容にするために、さらに内容等の改善が必要である。</p> <p>② 進路ガイダンス、進路相談の内容を生徒が強い関心を持ち、満足できる内容にするため、さらに改善する必要がある。</p> <p>③ 模擬試験のデータを受験指導や進路相談に、いかに効果的に活用することができるか、さらに検討が必要である。</p> <p>④ 進路ガイダンス、進路相談等の内容を今年度以上に生徒が関心を持ち、満足できる内容にする必要がある。</p>

改善策	<p>① 3年間一貫した進路指導を行うために、各学年、年次の必要に応じた適切な時期に適切な内容の保護者進路説明会を計画的に実施する。</p> <p>② 進路ガイダンスについては、専門業者を積極的に導入し、進路ガイダンスの内容を充実させる。進路相談については、模擬試験のデータのさらなる有効活用を進め、進路相談にあたっての教員のための学習会の内容の向上を図る。</p> <p>③ 模擬試験の成績管理システムを、全ての教員が使いこなせるようにサポート体制を整える。また、教員の模擬試験の実施時期、内容についてさらに検討する。</p> <p>④ 教員だけでなく、専門業者による進路ガイダンスの実施。進路ガイダンスの実施回数、実施時期、内容についてさらに検討する。</p>
-----	--

### ■ 特別活動・部活動に関する状況

(関連アンケート番号：教職員 7、生徒 3、保護者 4)

取組	<p>① 今年は、近隣の方へのあいさつ文の内容には具体的な展示の案内を盛り込み、早目に出した。ポスターを地域に掲示し宣伝活動に力を入れた。</p> <p>② 生徒会活動や委員会活動、行事を生徒が主体的に取り組めるよう指導している。</p> <p>③ 今年は、委員会活動で地域清掃に取り組んだ。</p>
成果	<p>① 文化祭に、多くの方が足を運んでくださった。</p> <p>② 中高合同の委員会の3年目だったが、中高の連携を取りながら、委員会に所属している生徒を中心に生徒が主体的に、行事の準備、運営に取り組んだ。</p> <p>③ 地域清掃活動をおこなうことができた。</p>
課題	<p>① 文化祭期間中に、近隣の路上駐車があり、地域へ迷惑をかけていたことは、課題である。</p> <p>② 委員会に入っていない生徒をどのように主体的に取り組ませるか、中高の連携をどのようにとっていくか更に工夫が必要である。</p> <p>③ 地域の活動への参加が少なく、交流やボランティア活動ができていないことは、課題である。</p>
改善策	<p>① ホームページなども利用し更にアピールしていく。路上駐車への警備への対応を行う。</p> <p>② 後も更に保護者にも協力していただけるよう、質の高い生徒会活動を目指すとともに、広報活動に少しずつ力をいれていくようにする。</p> <p>③ 地域との連携を密にし、積極的に交流を進めていく。ホームページの活用を行う。</p>

### 3 学校経営の状況

#### ■生徒指導・教育相談についての状況

(関連アンケート番号：生徒-5, 6, 7, 10, 13、生徒授業評価-9、保護者-6, 7, 8, 9, 10、地域-6, 7, 8, 9、教職員の評価-13-27)

取組	① 登校時の遅刻・服装指導、下校指導、全校集会やホームルームで、集団生活のルールやマナーについて講話などの啓発活動を行った。
成果	① 遅刻は昨年度より減少している。盗難や暴力事件などの生活指導上の問題も今年度は起きていない。
課題	① アンケート結果より、生活指導においては、特に大きな問題はないと考えられる。
改善策	① 今後も継続的に指導を行っていく。

#### ■保健指導・環境美化についての状況

(関連アンケート番号：生徒-5, 6, 7, 10, 13、生徒授業評価-9、保護者-6, 7, 8, 9, 10、地域-6, 7, 8, 9、教職員の評価-13-27)

取組	① 年5回の保健室だよりの発行、体調不調による保健室の来室生徒保護者への連絡の徹底、心身の健康問題早期発見・早期対応の為の支援を行った。 ② 災害時における避難訓練を実施した。
成果	① 様々な場面で、生徒・保護者・教職員への支援が充実した。 ② 4月に避難経路確認訓練を行い、速やかに避難場所へ避難することができた。9月の総合防災訓練では速やかに避難することができ、帰宅方面別のグループごとに集合し、帰宅経路を確認できた。
課題	① 来年度、附属中学生と高校からの入学生を受け入れることになり、新たな指導体制が必要になってくる。 ② 避難経路の未確認の生徒が多少見受けられることは、課題である。
改善策	① 特別支援教育委員会を立ち上げて、多様なケースに対し、適切に対応出来るように努める。 ② 避難経路の確認についてはHR教室に掲示されているが、ことあるごとに生徒に発信し、確認させるよう努める。



## ■組織運営・教職員研修の状況

(関連アンケート番号：教職員の評価-5、10、18)

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 校内ネットワークの管理を行い、成績処理システムの導入を図った。</li> <li>② 中高合同授業研究会を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科担任が責任をもって成績を入力することで、担任の負担が軽減された。また、以前の表計算ソフト上の貼り付けミスがなくなり、成績伝票の正確性が向上した。</li> <li>② 研究会に向けての準備を通して教員の教材研究が進み、授業力の向上を図ることができた。中高の教員の協力でお互いの意思疎通を図り、相互理解を深めることができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成績を出すまではそれぞれの方法に任されているため、評価評定に対する精度の向上を把握しづらい。システムの確実な操作が必要である。</li> <li>② 授業力の向上は教材研究とは必ずしも連動するものではなく、あくまでも教員の意識付けが必要である。振り返りを通して日々の研修に生かしていく継続的な研究が必要である。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 年度当初に研修会を設定し、評価評定に対する各教科での研修を実施する。</li> <li>② 授業力向上に向けての継続的な自己研鑽を積み重ね、教科内でも授業力向上のための研修会を行う。</li> </ul>

# 平成 26 年度

## 学校評価アンケートのまとめ

1. 生徒による学校評価	2
2. 生徒による授業評価	3 - 13
国語科	4
地歴公民科	5
数学科	6
理科	7
体育科	8
芸術科	9
英語科	10
家庭科	11
情報科	12
教育基礎	13
3. 保護者による学校評価	14
4. 地域による学校評価	15
5. 教職員による学校評価	16

# 1. 生徒による学校評価

1-そう思う、2-ややそう思う、3-あまりそう思わない、4-そう思わない										
項目	No.	評価指標	1	2	3	4	計	1・2	25年度	
教育活動等について	1	希望する進路のために必要な科目や、興味・関心を満たす科目が設定されている。	296	216	37	11	560	91.4%	87.3%	
	2	自分は学級で良好な人間関係を築いている。	335	196	23	5	559	95.0%	92.4%	
	3	自分は生徒会活動や委員会活動、生徒会行事を主体的に行っている。	206	235	84	35	560	78.8%	75.5%	
	4	先生は生徒の不安や悩み事などについて親身になって相談にのっている。	217	252	71	17	557	84.2%	83.1%	
	5	南高校はいじめや差別を許させない環境作りに努めている。	180	280	81	18	559	82.3%	82.2%	
	6	南高校は進路説明会等での進路に関する情報を十分に理解している。	247	251	48	9	555	89.7%	87.5%	
	7	南高校は生徒の健康管理について適切な指導をしている。	165	279	91	21	556	79.9%	80.3%	
	8	南高校は資源リサイクルや環境美化について積極的に取り組んでいる。	230	258	56	10	554	88.1%	84.4%	
学校生活等について	9	南高校は生徒であることに誇りを感じている。	275	209	51	21	556	87.1%	89.7%	
	10	南高校の施設・設備面の教育環境が充実している。	384	149	20	6	559	95.3%	94.6%	
	11	南高校は生徒の個人情報を適切に管理している。	311	219	22	5	557	95.2%	92.4%	
	12	災害時の避難経路を把握している。	166	206	113	71	556	66.9%	74.5%	
	13	南高校は学校ホームページ及び学年便り等を活用し、保護者の必要な情報を提供している。	158	268	97	29	552	77.2%	81.7%	

1年生のデータ							2年生のデータ							3年生のデータ						
質問	1	2	3	4	総数	12	質問	1	2	3	4	総数	12	質問	1	2	3	4	総数	12
1	63	103	17	8	191	86.9%	1	105	68	10	2	185	93.5%	1	128	45	10	1	184	94.0%
2	94	83	12	2	191	92.7%	2	100	76	8	1	185	95.1%	2	141	37	3	2	183	97.3%
3	42	94	35	21	192	70.8%	3	64	82	30	9	185	78.9%	3	100	59	19	5	183	86.9%
4	49	100	29	11	189	78.8%	4	59	91	30	5	185	81.1%	4	109	61	12	1	183	92.9%
5	36	113	31	11	191	78.0%	5	43	103	35	4	185	78.9%	5	101	64	15	3	183	90.2%
6	68	97	18	6	189	87.3%	6	66	94	22	3	185	86.5%	6	113	60	8	0	181	95.6%
7	34	100	43	13	190	70.5%	7	40	107	33	4	184	79.9%	7	91	72	15	4	182	89.6%
8	60	99	26	5	190	83.7%	8	66	97	17	4	184	88.6%	8	104	62	13	1	180	92.2%
1	66	88	26	10	190	81.1%	1	81	81	15	8	185	87.6%	1	128	40	10	3	181	92.8%
2	121	60	10	1	192	94.3%	2	125	49	6	5	185	94.1%	2	138	40	4	0	182	97.8%
3	86	90	13	3	192	91.7%	3	92	81	9	2	184	94.0%	3	133	48	0	0	181	100.0%
4	31	63	53	44	191	49.2%	4	43	78	44	20	185	65.4%	4	92	65	16	7	180	87.2%
5	34	104	40	12	190	72.6%	5	45	87	40	12	184	71.7%	5	79	77	17	5	178	87.6%

## 2. 生徒による授業評価

### 質問項目

#### ◎ 評価項目 1-自分自身について

- 1 予習復習など学習の準備をして意欲的に学習に取り組んでいる。
- 2 授業で学習した内容はだいたい理解または習得できている。
- 3 主体的・積極的に授業に参加している。

#### ◎ 評価項目 2-授業や先生について

- 4 生徒に学力を身につけさせようと、授業に熱心に取り組んでいる。
- 5 学習の狙いがはっきりしていて、内容の組み立ても適切である。
- 6 板書、プリント、教材の使い方はわかりやすいですか。
- 7 生徒に公平に接し、理解しようとしていますか。
- 8 評価方法や評価基準についての説明は十分行われた。
- 9 授業の年間計画が説明され、授業もその内容に準じて行われている。
- 10 発問や説明が適切でわかりやすい。

※各教科・科目により学習の状況が異なっているので、複数の教科で、質問項目が異なります。

- 芸術科
- 1 授業に必要な用具を準備して意欲的に学習に取り組んでいる。
  - 4 生徒に芸術的な技能と完成を高めさせようと授業に熱心に取り組んでいる。

#### 保健体育科の体育

- 1 授業に必要な用具の準備などをして意欲的に学習に取り組んでいる。
- 4 生徒に技術や体力を身につけさせようと、授業に熱心に取り組んでいる。
- 6 削除し、他の項目を1つずつ繰り上げ、9問とした。

- 家庭科
- 1 授業に必要な用具を準備して意欲的に学習に取り組んでいる。
  - 3 主体的・積極的に取り組み、課題を提出できた。

国語科

1年生 全体							2年生 全体							3年生 全体						
合計	1	2	3	4	総数	12の割合	質問	1	2	3	4	総数	12の割合		1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	15	103	44	22	184	64.1%	設問1	40	133	121	30	324	53.4%	設問1	136	156	72	21	385	75.8%
設問2	25	118	30	11	184	77.7%	設問2	41	166	107	10	324	63.9%	設問2	183	152	37	10	382	87.7%
設問3	34	102	31	16	183	74.3%	設問3	67	168	77	11	323	72.8%	設問3	164	155	41	15	375	85.1%
設問4	75	88	17	2	182	89.6%	設問4	76	192	49	7	324	82.7%	設問4	231	113	27	8	379	90.8%
設問5	77	89	13	4	183	90.7%	設問5	77	181	57	6	321	80.4%	設問5	260	87	21	8	376	92.3%
設問6	62	100	16	5	183	88.5%	設問6	78	184	52	4	318	82.4%	設問6	242	102	26	8	378	91.0%
設問7	60	86	19	13	178	82.0%	設問7	81	175	54	9	319	80.3%	設問7	230	101	34	11	376	88.0%
設問8	83	80	13	4	180	90.6%	設問8	128	160	25	4	317	90.9%	設問8	270	82	20	7	379	92.9%
設問9	78	91	12	3	184	91.8%	設問9	127	164	27	4	322	90.4%	設問9	273	86	12	6	377	95.2%
設問10	64	85	24	10	183	81.4%	設問10	90	181	42	11	324	83.6%	設問10	222	102	38	12	374	86.6%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・25年度に引き続き「知識の定着・わかる授業・主体的に考える授業」を目指すとともに、板書・プリント等授業への配慮と工夫をした。教員間の情報交換や研修により、「より良い教育実践」を行うための努力を続けた。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・3年の各科目について、25年度に引き続き高い評価を維持できているとともに改善がみられた。1・2年も全体として、25年度の改善した結果を維持することができた。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・授業評価に比べて、生徒自身の自己評価が低いところが課題である。
- ・生徒の学習意欲の一層の向上をはかる。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・授業法の研究と工夫、教員間での情報交換等を定期的に行い、生徒の学習への関心・意欲を高める。
- ・基礎知識の一層の定着のために、家庭での学習習慣を身に付けさせる。

地歴公民科

1年生 全体							2年生 全体							3年生 全体						
合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	23	80	63	17	183	56.3%	設問1	33	88	57	23	201	60.2%	設問1	42	41	16	3	102	81.4%
設問2	23	83	64	13	183	57.9%	設問2	33	108	44	16	201	70.1%	設問2	40	47	10	3	100	87.0%
設問3	32	90	43	14	179	68.2%	設問3	52	86	47	13	198	69.7%	設問3	54	39	10	0	103	90.3%
設問4	71	72	30	5	178	80.3%	設問4	80	93	24	1	198	87.4%	設問4	65	31	4	1	101	95.0%
設問5	73	78	26	5	182	83.0%	設問5	91	87	19	0	197	90.4%	設問5	72	24	2	1	99	97.0%
設問6	70	84	23	6	183	84.2%	設問6	88	80	25	2	195	86.2%	設問6	64	32	5	1	102	94.1%
設問7	70	73	28	10	181	79.0%	設問7	74	92	25	5	196	84.7%	設問7	66	26	8	1	101	91.1%
設問8	86	72	16	3	177	89.3%	設問8	94	78	20	2	194	88.7%	設問8	83	18	1	0	102	99.0%
設問9	91	70	17	7	185	87.0%	設問9	93	80	18	1	192	90.1%	設問9	78	18	1	0	97	99.0%
設問10	72	74	25	8	179	81.6%	設問10	85	79	27	4	195	84.1%	設問10	73	27	0	1	101	99.0%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

・25年度に引き続き「わかる授業」を目指すとともに、板書・プリント等、見せることへの配慮と工夫をし、生徒の学習意欲を維持・向上させる取り組みをおこなった。また教員相互の情報交換・研鑽により、積極的に「よりよいもの」を取り入れる努力をした。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

・3年日本史については25年度に引き続き高い評価を維持できた。2年の世界史・日本史Bについても大幅な改善がみられた。1年も全体としては25年度の改善を維持することができた。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

・全体に自分自身に対する項目に関しては評価が低いようである。また、科目・クラスによる評価の偏りがみられたのが課題である。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

・普段から学問に興味をもたせるように指導する。教員の専門性を生かした科目の持ち合いとなるようにする。

## 数学科

1年生 全体							2年生 全体						3年生 全体							
合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	31	97	44	16	188	68.1%	設問1	21	86	62	16	185	57.8%	設問1	21	37	32	4	94	61.7%
設問2	26	91	60	11	188	62.2%	設問2	22	97	48	18	185	64.3%	設問2	24	39	25	6	94	67.0%
設問3	35	99	42	7	183	73.2%	設問3	47	84	44	10	185	70.8%	設問3	32	38	22	4	96	72.9%
設問4	88	78	12	7	185	89.7%	設問4	62	94	21	6	183	85.2%	設問4	53	31	6	4	94	89.4%
設問5	57	100	22	4	183	85.8%	設問5	60	79	30	10	179	77.7%	設問5	54	29	4	5	92	90.2%
設問6	58	96	26	3	183	84.2%	設問6	57	91	24	7	179	82.7%	設問6	47	32	11	4	94	84.0%
設問7	53	97	30	4	184	81.5%	設問7	47	89	27	12	175	77.7%	設問7	51	25	10	6	92	82.6%
設問8	61	97	21	4	183	86.3%	設問8	69	79	20	11	179	82.7%	設問8	50	30	6	4	90	88.9%
設問9	73	92	14	4	183	90.2%	設問9	81	77	16	5	179	88.3%	設問9	58	30	1	3	92	95.7%
設問10	59	89	27	11	186	79.6%	設問10	59	74	29	17	179	74.3%	設問10	53	27	9	4	93	86.0%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・1学年では、問題集を変え、より生徒の理解度に合うようにした。
- ・2学年では、 $\alpha$ と $\beta$ で異なる参考書・問題集を用い、生徒の目的に合わせモチベーションを維持できるよう努めた。
- ・3年次の演習講座の問題集をレベル別に細分化されたものにし、反復演習に力を入れた。
- ・数Ⅲに関しては、順番を考え、早期に微分積分を学習できるよう計画を立てた。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・難易度が生徒にあったものになったので生徒の取り組む姿勢が向上した。
- ・ $\alpha$ は基礎・基本を重視した内容のもので、最後まで継続する姿勢が見られた。
- ・演習講座の問題量が多く、実際の入試問題を特に際してとても有効なものとなった。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・昨年度より数値は上がったが、より一層家庭における学習習慣の確立を促す必要がある。
- ・予習の取り組みを充実させ、授業にスムーズに入っていけるよう改善する必要がある。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・限られた時間を有効に使えるように、より学習の効率化の習慣を定着させる。
- ・弱点や苦手部分の改善を徹底し、基礎・基本の充実をはかる。
- ・一人ひとりに応じた指導をもとに、全体的なレベルアップにつなげていく。

理科

1年生 全体							2年生 全体							3年生 全体						
質問	1	2	3	4	総数	12の割合	質問	1	2	3	4	総数	12の割合	質問	1	2	3	4	総数	12の割合
1	58	200	94	20	372	69.4%	1	67	195	146	29	437	60.0%	1	35	78	47	8	168	67.3%
2	52	209	92	14	367	71.1%	2	71	247	94	16	428	74.3%	2	45	92	29	3	169	81.1%
3	66	220	70	13	369	77.5%	3	96	228	94	13	431	75.2%	3	54	72	36	4	166	75.9%
4	144	180	38	8	370	87.6%	4	157	195	63	16	431	81.7%	4	79	72	10	3	164	92.1%
5	141	190	27	7	365	90.7%	5	176	200	41	13	430	87.4%	5	92	64	8	1	165	94.5%
1	125	194	37	7	363	87.9%	1	148	199	57	18	422	82.2%	1	84	66	10	5	165	90.9%
2	129	184	38	8	359	87.2%	2	169	161	63	32	425	77.6%	2	84	58	18	4	164	86.6%
3	135	175	39	11	360	86.1%	3	171	170	60	20	421	81.0%	3	85	62	12	6	165	89.1%
4	135	193	26	5	359	91.4%	4	189	199	20	11	419	92.6%	4	96	59	9	0	164	94.5%
5	123	170	53	11	357	82.1%	5	160	160	58	43	421	76.0%	5	89	56	13	7	165	87.9%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・家庭学習の課題や小テスト・長期休業中の課題などを充実させた。
- ・授業中にパワーポイントを使用するなど、教員の電子機器利用が進んだ。
- ・付属中学の理科準備室を整備した。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・授業に対する生徒の取り組みと評価が向上したので、今後も継続していきたい。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・授業評価に比べて生徒自身の自己評価が低いことが課題である。
- ・生徒が意欲的に学習に取り組めるよう工夫することが必要である。
- ・授業に活用することができるよう、生徒が使用できる電子機器を充実させることが課題である。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・家庭学習の定着を図る。
- ・生徒の実態に合った学習内容を検討する。
- ・教員の専門性に合った科目を担当できるようにする。



保健体育科

1年生 全体							2年生 全体							3年生 全体						
合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合	質問	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	77	93	12	1	183	92.9%	設問1	96	68	10	1	175	93.7%	設問1	172	46	3	0	221	98.6%
設問2	69	91	20	3	183	87.4%	設問2	72	83	15	6	176	88.1%	設問2	155	55	6	0	216	97.2%
設問3	97	76	10	2	185	93.5%	設問3	96	67	6	3	172	94.8%	設問3	179	36	1	0	216	99.5%
設問4	110	69	3	0	182	98.4%	設問4	98	59	9	4	170	92.4%	設問4	186	34	2	0	222	99.1%
設問5	115	64	5	2	186	96.2%	設問5	90	60	17	4	171	87.7%	設問5	180	38	2	0	220	99.1%
設問6	87	94	3	2	186	97.3%	設問6	78	69	22	4	173	85.0%	設問6	169	42	2	0	213	99.1%
設問7	84	80	19	2	185	88.6%	設問7	84	59	18	11	172	83.1%	設問7	173	38	4	2	217	97.2%
設問8	66	100	11	5	182	91.2%	設問8	79	72	14	7	172	87.8%	設問8	169	37	3	0	209	98.6%
設問9	91	78	11	2	182	92.9%	設問9	87	65	14	6	172	88.4%	設問9	171	34	4	0	209	98.1%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・一学年・・・各種目の基礎・基本を学び定着させる。
- ・二学年・・・前期は各種目の基礎・基本の定着を図り、後期は自らの興味・関心で種目を選択しより活発な活動をする。
- ・三年次・・・種目選択制授業で生涯スポーツに繋げる。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・各年次とも授業に取り組む姿勢、学習内容の習得は良好である。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・授業評価から二年次の「授業で学習した内容はだいたい理解、または習得している」の「そう思う」「ややそう思う」と回答したのが88.1%と、そう高くないこと。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・学習カードなどを更に有効に活用し知識の理解と技能の習得に努める。

芸術科

1年生全体							3年生全体						
合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	94	76	12	3	185	91.9%	設問1	91	10	1	0	102	99.0%
設問2	66	105	12	2	185	92.4%	設問2	83	18	0	0	101	100.0%
設問3	96	73	11	2	182	92.9%	設問3	83	14	1	0	98	99.0%
設問4	103	72	8	1	184	95.1%	設問4	68	24	6	1	99	92.9%
設問5	121	56	4	1	182	97.3%	設問5	86	13	0	0	99	100.0%
設問6	101	74	6	0	181	96.7%	設問6	76	21	2	0	99	98.0%
設問7	88	85	8	2	183	94.5%	設問7	77	18	7	0	102	93.1%
設問8	123	54	2	0	179	98.9%	設問8	95	5	2	0	102	98.0%
設問9	113	63	5	1	182	96.7%	設問9	94	6	1	1	102	98.0%
設問10	105	69	6	0	180	96.7%	設問10	85	10	2	0	97	97.9%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・点数化されにくい技能や到達度や意欲関心の評価方法について、単元の目標や授業のねらいを丁寧に説明し、観点を明確に伝える工夫を行った。単元の終わりには振り返りシートを書かせて、授業のねらいや観点を再確認できるようにした。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・90パーセント以上の生徒が理解してくれていると判断できる。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・受講者全員が、芸術への関心意欲を高め、主体的積極的に授業に参加する内容にすることが課題である。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・授業の中で生徒との信頼関係を築くことが大事なので、関わりを持ちながら指導に当たれるように、授業の内容や教え方の工夫をすることが必要である。

## 英語科

1年生 全体							2年生 全体							3年生 全体						
合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	18	177	154	48	397	49.1%	設問1	56	189	110	28	383	64.0%	設問1	110	150	67	22	349	74.5%
設問2	20	214	138	21	393	59.5%	設問2	56	204	109	15	384	67.7%	設問2	121	166	52	6	345	83.2%
設問3	66	217	88	17	388	72.9%	設問3	82	215	79	7	383	77.5%	設問3	138	162	33	12	345	87.0%
設問4	192	161	25	5	383	92.2%	設問4	157	192	29	4	382	91.4%	設問4	221	107	10	3	341	96.2%
設問5	198	165	20	3	386	94.0%	設問5	218	143	18	4	383	94.3%	設問5	253	81	7	4	345	96.8%
設問6	130	196	53	6	385	84.7%	設問6	134	190	48	9	381	85.0%	設問6	220	102	12	5	339	95.0%
設問7	132	189	61	6	388	82.7%	設問7	133	170	65	11	379	79.9%	設問7	210	105	14	9	338	93.2%
設問8	196	159	26	4	385	92.2%	設問8	199	143	29	6	377	90.7%	設問8	254	68	10	4	336	95.8%
設問9	175	187	18	7	387	93.5%	設問9	199	158	21	3	381	93.7%	設問9	263	66	3	4	336	97.9%
設問10	150	180	42	13	385	85.7%	設問10	155	171	45	8	379	86.0%	設問10	234	94	11	5	344	95.3%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・62期生を受け入れるにあたり、予習を前提としない新しい形態の授業を模索してきた。

具体的には、中学との連携を踏まえつつ、高校の授業にラウンド制を取り入れることを英語科の研究課題として取り組んだ。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・自分の言葉で書くことを多く取り入れているので、表現力や表現しようとする姿勢が培われた。
- ・リスニングで導入していて、授業でも英語を多く使っているため、リスニング力がついてきた。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

・新しい授業方法にまだ、とまどっている様子が見える。実際、生徒が思っている以上に力がついていることが理解されることが必要である。

- ・予習をしていないことで、あまり意欲的に取り組んでいないと感じている生徒がいることが課題である。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・家庭学習の課題の意図を明確に理解させる。
- ・模試などの数値を利用して、生徒に力がついていることを認識させ、不安を取り除く。
- ・独自のアンケートを行い、授業者の意図を理解させるとともに、生徒の実際の考えを把握する。

家庭科

2年生全体						3年生全体							
家庭生活	1	2	3	4	総数	12の割合	合計	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	9	8			17	100.0%	設問1	32	10	0	0	42	100.0%
設問2	9	9			18	100.0%	設問2	31	10	1	0	42	97.6%
設問3	11	4			15	100.0%	設問3	29	9	4	0	42	90.5%
設問4	11	7			18	100.0%	設問4	36	5	1	0	42	97.6%
設問5	10	6			16	100.0%	設問5	40	2	0	0	42	100.0%
設問6	11	6			17	100.0%	設問6	35	7	0	0	42	100.0%
設問7	11	7			18	100.0%	設問7	32	10	0	0	42	100.0%
設問8	11	5			16	100.0%	設問8	39	1	2	0	42	95.2%
設問9	12	5			17	100.0%	設問9	39	0	3	0	42	92.9%
設問10	10	5			15	100.0%	設問10	35	5	0	0	40	100.0%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・生徒の希望を取り入れ、科目としての目標とすり合わせ、よりよい授業を作ってきた。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・表からわかるように、5、6、7は100%である。生徒は熱心に取り組んでいる。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・3年フードデザインの③について、グループ実習を行っているのに、自信がないと思っている生徒は積極的に参加できていないと感じているのであろう。一人一人が責任を持ち技術の向上と、自信が身に着く実習を行いたい。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・個人技術評価を増やし、自分が積極的にやらざるを得ないような場面を多く作る工夫をしたい。

情報科

1年生全体						
	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	16	67	60	35	178	46.6%
設問2	13	93	54	20	180	58.9%
設問3	25	107	35	10	177	74.6%
設問4	60	85	27	4	176	82.4%
設問5	40	97	33	8	178	77.0%
設問6	43	102	26	5	176	82.4%
設問7	41	84	41	9	175	71.4%
設問8	51	84	33	9	177	76.3%
設問9	51	83	32	14	180	74.4%
設問10	45	90	33	13	181	74.6%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい。

- ・予習は不要、授業内で作業を完結することというアナウンスを根気よく行った。
- ・教科の目的や目標を複数回アナウンスした。
- ・授業の前後関係や組み立てを繰り返しアナウンスした。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・アナウンスの成果が表れたと評価している。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・25年度と同様、教科全体の構成や教材の関連性を理解させることが引き続き必要である。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・新たな教材開発を試行しながら、教科の特質をアナウンスし続ける。

## 教育基礎

教育基礎全体						
合計	1	2	3	4	総数	12の割合
設問1	6	2			8	100.0%
設問2	7	1			8	100.0%
設問3	9				9	100.0%
設問4	8	1			9	100.0%
設問5	8	1			9	100.0%
設問6	8	1			9	100.0%
設問7	9				9	100.0%
設問8	8			1	9	88.9%
設問9	8		1		9	88.9%
設問10	7		1		8	87.5%

(a) 取り組み…昨年の改善策をうけて、どのような取り組みを行ってきたかを書いて下さい

- ・昨年と担当者が異なり、昨年の改善策を把握していない。
- ・二人の担当で一昨年以前の経験を元に、発表場を増やしたり、話し合う場を増やすなどの授業改善を行った。

(b) 成果…その取り組みに当たっての成果を書いて下さい。

- ・積極的に参加できる授業の雰囲気はできた、とアンケートの結果を見ても判断できる。

(c) 課題…生徒の評価から考えられる課題を書いて下さい。

- ・公平でない、という意見（一人）が出てしまったのは課題である。

(d) 改善策…課題を解決するための改善策を書いて下さい。

- ・成績を返す際に個別に課題の提示をするなど、個別への説明をより丁寧にすることで改善していきたい。

### 3. 保護者による学校評価

1-十分に実現できている、2-おおむね実現できている、3-あまり実現できていない、4-全く実現できていない、5-判断できない										
項目	No.	評価指標	1	2	3	4	5	計	1・2	25年度
教育活動等について	1	進学重点校として、模擬テストや面談の充実など適切な取り組みをしている。	146	253	82	14	15	510	78.2%	77.2%
	2	南高校の教育課程は進路実現に適したものになっている。	116	274	60	14	50	514	75.9%	79.6%
	3	お子さんは学級で良好な人間関係を築き、充実した生活を送っている。	314	163	16	8	13	514	92.8%	92.8%
	4	学校行事や生徒会活動は充実し、子どもは積極的に参加している。	276	184	32	10	12	514	89.5%	82.1%
	5	生活習慣や規範意識を身につけるための適切な指導が行われている。	103	247	91	11	61	513	68.2%	78.5%
学校生活等について	6	希望進路に応じた情報の提供があり、適切な指導が行われている。	148	254	74	11	28	515	78.1%	78.6%
	7	生徒の健康管理に関する適切な指導が行われている。	89	210	106	9	101	515	58.1%	75.1%
	8	校内の環境美化に力を入れ、教育環境がきちんと管理されている。	203	233	39	4	36	515	84.7%	87.8%
	9	各種会計報告が適切に行われている。	288	183	11	1	32	515	91.5%	94.7%
	10	学校の様子を家庭への配布資料や学校ホームページなどを通じて十分かつ適切に伝えている。	130	243	92	16	34	515	72.4%	80.9%

1年生のデータ							2年生のデータ							3年生のデータ									
質問	1	2	3	4	5	総数	12	質問	1	2	3	4	5	総数	12	質問	1	2	3	4	5	総数	12
1	46	92	31	7	7	183	75.4%	1	47	81	38	3	5	174	73.6%	1	53	80	13	4	3	153	86.9%
2	36	100	20	6	22	184	73.9%	2	44	93	19	4	17	177	77.4%	2	36	81	21	4	11	153	76.5%
3	103	67	7	2	5	184	92.4%	3	103	57	5	4	8	177	90.4%	3	108	39	4	2	0	153	96.1%
4	78	79	17	3	6	183	85.8%	4	98	60	11	3	6	178	88.8%	4	100	45	4	4	0	153	94.8%
5	24	83	44	5	27	183	58.5%	5	31	89	32	4	21	177	67.8%	5	48	75	15	2	13	153	80.4%
1	45	90	29	5	15	184	73.4%	1	42	97	27	3	9	178	78.1%	1	61	67	18	3	4	153	83.7%
2	24	77	32	6	45	184	54.9%	2	27	74	40	3	34	178	56.7%	2	38	59	34	0	22	153	63.4%
3	75	90	7	0	12	184	89.7%	3	71	77	16	3	11	178	83.1%	3	57	66	16	1	13	153	80.4%
4	96	66	5	1	16	184	88.0%	4	97	69	2	0	10	178	93.3%	4	95	48	4	0	6	153	93.5%
5	41	88	41	6	8	184	70.1%	5	43	84	34	6	11	178	71.3%	5	46	71	17	4	15	153	76.5%

#### 4. 地域による学校評価

		1-そう思う	2-ややそう思う	3-あまりそう思わない	4-思わない	5-わからない							
項目	No.						1	2	3	4	5	計	1・2
教育活動	1	学校は地域の人材や施設を教育活動に活かしている。	7	8	7	10	33	65	23.1%				
	2	学校は文化祭等の学校行事を通して、地域から信頼される学校を目指している。	15	20	10	1	18	64	54.7%				
生徒の様子	3	学校生活が楽しそうで、生き生きとしている様子の生徒が多く見られる。	10	19	10	1	24	64	45.3%				
	4	生徒は登下校の際のマナーが身に付いている。	7	12	16	12	18	65	29.2%				
	5	生徒は近隣に迷惑にならないような行動を心がけている。	8	13	15	5	23	64	32.8%				
地域貢献等	6	学校は地域の活動や行事によく協力している。	7	7	9	10	30	63	22.2%				
	7	学校は校舎・グラウンド等の近隣に接している所も清掃し、環境美化に努めている。	7	12	6	7	33	65	29.2%				
	8	生徒は社会貢献（地域清掃や地域のボランティア等の取組）の活動により地域に貢献している。	3	9	5	9	38	64	18.8%				
	9	学校は地域に向けて学校情報の提供をしている。	4	15	14	4	27	64	29.7%				



## 5. 教職員による学校評価

1-十分に実現できている、2-おおむね実現できている、3-あまり実現できていない、4-全く実現できていない、5-判断できない													
No	大分類	評価項目	観点	評価指標					計	1・2	25年度		
				1	2	3	4	5					
1	教育活動	教育振興プログラム		教育振興プログラムの各校の使命に示された目標の達成に向けて学校全体として取り組んでいる。	6	36	11	1	5	59	71.2%	78.3%	
2		教育課程	編成	学校教育目標・学校経営目標を踏まえて編成されている。	9	39	6	1	3	58	82.8%	88.3%	
3			取組	学習指導要領の趣旨及び横浜市の方針に基づき、さらに中期学校経営方針に掲げた目標の実現を目指して編成し、取り組んでいる。	9	40	4	1	3	57	86.0%	88.3%	
4		教科指導	指導計画	学校教育目標・重点目標の実現に向け適切な計画を作成している。	14	37	4	1	2	58	87.9%	90.0%	
5			取組	私の所属している教科は生徒の実態に応じて、指導内容や指導方法を工夫してわかりやすい授業を行っている。	18	30	2	0	7	57	84.2%	95.0%	
6			評価評定	観点別評価規準を明確にした年間計画を立て、それに基づき適切な方法で評価・評定を行っている。	17	27	6	0	5	55	80.0%	88.3%	
7		特別活動部活動	取組	生徒の主体的、自立的な生徒会活動の活性化に向けて適切に指導している。	17	25	4	1	5	52	80.8%	88.3%	
8		ホームルーム活動		生徒が人間関係を円滑に結び、充実した学校生活を送ることができるよう基礎的な生活集団の形成に資するホームルーム経営を行うことができている。	13	33	4	1	6	57	80.7%	90.0%	
9		生徒指導		生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成に向けて、適切な指導を行っている。	8	37	7	0	4	56	80.4%	85.0%	
10		進路指導		生徒の希望する進路の実現に向けて、学校全体として適切な指導を行っている。	12	32	8	1	2	55	80.0%	88.3%	
11		保健指導		学校保健計画に沿って生徒の健康管理を適切に行い、また生徒の健康に対する意識を喚起している。	13	30	5	1	4	53	81.1%	93.3%	
12		環境美化		資源リサイクル等省エネ行動に学校として適切に取り組んでいる。	11	32	9	0	2	54	79.6%	85.0%	
13	学校経営	学校教育目標		学校教育目標の実現に向け、全教職員が取り組んでいる。	7	30	14	2	6	59	62.7%	85.0%	
14		学校経営方針		学校経営方針に基づき、教職員が協力して円滑な学校経営がなされている。	8	29	14	2	5	58	63.8%	78.0%	
15		職員組織(校務分掌も含む)		一人ひとりの教職員が意欲をもって業務に取り組むことができる組織である。	8	26	12	4	8	58	58.6%	61.7%	
16		学年経営		各学年(年次)の運営は、情報が共有され組織的取組が円滑に行なわれている。	10	33	5	1	8	57	75.4%	85.0%	
17		職員会議等		会議は効率的に運営されており、教育活動や学校運営の計画等の共通理解が図られる場となっている。	9	29	12	3	5	58	65.5%	70.0%	
18		研究・研修		教職員が互いに研鑽し、力量を高めることができるように、校内の研究・研修体制が整えられている。	4	30	15	4	6	59	57.6%	61.7%	
19		学校経理	予算編成		予算委員会などの組織を設けて、予算が適切に立てられている。	13	34	4	1	3	55	85.5%	90.0%
20			会計報告		公金、準公金ともに透明性が確保され、保護者や市民に対する説明責任を果たしている。	18	30	4	2	3	57	84.2%	95.0%
21		学校施設設備		教室、特別教室、体育施設等は学習や生活がしやすいように管理が適切になされている。	12	29	9	2	3	55	74.5%	86.7%	
22		情報管理		個人情報の管理が適切である。	14	32	3	2	5	56	82.1%	93.3%	
23		保護者・地域等との連携協力	PTA活動		PTAとの連携・協力の推進が図られている。	14	33	2	1	6	56	83.9%	91.7%
24			地域等との連携協力		学校の教育活動の情報提供・説明が十分になされ、活動に対する理解が得られている。	10	33	5	2	5	55	78.2%	86.7%
25		危機管理	安全対策		学校安全計画に沿って適正に実施されている。	13	30	3	2	5	53	81.1%	86.0%
26			防災対策		学校防災計画に沿って、緊急避難場所や避難経路・避難方法等の周知徹底がなされている。	13	31	2	2	4	52	84.6%	91.7%
27		情報公開		募集に関する学校説明会や学校情報に関する広報活動が適切に行われている。	17	29	2	1	5	54	85.2%	93.3%	

平成 2 6 年度

横浜市立高等学校  
及び  
南高等学校附属中学校

学校関係者評価書

対象校：横浜市立南高等学校  
南高等学校附属中学校

## 調査全体の日程

■：重点取組項目

調査日：平成26年10月1日～平成27年3月31日

調査対象校：横浜市立南高等学校

調査チーム：横浜市立南高等学校・附属中学校 学校運営協議会

リーダー： 坂野 慎二 (玉川大学大学院 教授)  
高森 政雄 (港南区連合町内会長連絡協議会会長)  
石川 直弘 (同窓会会長)  
北崎 熙 (後援会会長)  
大越 雅也 (PTA会長)  
今関 裕美子 (PTA副会長)  
織茂 篤史 (元横浜市立学校 校長、桐蔭学園囑託)  
高木 展郎 (横浜国立大学 教授)  
田澤 慶暁 (元明治大学附属中野・八王子中学校・高等学校 常勤理事)  
野木 秀子 (元横浜市教育委員)  
春口 廣 (関東学院大学 教授)  
鈴木 英夫 (南高等学校 校長)  
高橋 正尚 (南高等学校附属中学校 校長)

記録等担当者 碓 郁夫 (学校評価部会・事務局)

## 1 横浜市立高等学校教育振興プログラムの推進状況

### ■特色ある学校づくりの推進状況

- ・中学校の学校評価書内容と高校の学校評価内容を比べると高校の内容が薄い。高校は、もっと細かく記載してほしい。
- ・中学校のカナダ海外研修旅行は、しっかり準備段階から行われており、実際の実施でも十分な効果があったと思われる。
- ・高校の学校評価の中で、公開授業研究会についての、評価記載がない。苦労して中高合同授業研究会が実施されたので記載してよいのではないかと思われる。成果があれば今後も公開研究授業を続けるとか記載してほしい。
- ・附属中学生全員が南高校に入学したことは、高校側が評価するのは疑問である。中学校側の努力によつての結果であるから、中学校側評価項目として記載すべきである。
- ・合同授業研究会の評価を記載する場合には、教職員アンケートの評価結果などの根拠を用いて評価を示してほしい。
- ・中学校からの入学生に対して、高校側では、いろいろな新しい取り組みを作り中学三年生に示した結果、全員が入学した理由になっているので、全員中学生が進学したことを高校側の評価項目として取り上げるのは、適切である。
- ・全般として、学校運営に高校側はよく努力されているが、教職員による学校評価がすべて下がっているのが気になる。教職員のモチベーションが下がっているのではないか。
- ・教職員による学校評価項目「学校目標に向け、全職員が取り組んでいる」が 85%から 62.7%に下がっている。かなり評価が下がっていることについて課題である。この項目について評価がないのは、おかしい。学校経営の部分に入れ込んで、記載すべきである。
- ・生徒の視点からの分析が薄いと感じられる。生徒が、学習に取り組める場面を学校としての取り組みを記載してほしい。生徒が学習行う中で、部活などの管理などをどうすれば良いかなどについての記載がない。スタディーサポートのデータ分析などを着さして欲しい。さらに、それをどのように利用して改善していくかどうかを記載すべきである。

## 2 教育活動の状況

### ■教科指導の関しての状況について

- ・中学校の生徒の学習に対する成果はかなり結果として表れていると理解できる。学習に対して、生徒の自己管理がしっかりできているかどうか記載すべきである。
- ・高校として学習時間の管理ができているかどうかなど、生徒の学習に対する管理体制ができているかどうか課題である。その管理がうまくいっていないのであれば、スタディーサポートを実施しているのであれば、スタディーサポートを活用した改善策などを記載してほしい。
- ・中学校で実施している週プランの提出を担当がしっかりチェックできて、管理ができていないのであれば、その改善策を記載すべきではないか。
- ・中学の最初の二年間は、学習習慣をつけるべきであるので、きちんと指導体制を作るべきである。
- ・高校が、一年生で、リスウィーク（学習計画）の提出をさせたり、スタディーサポートを実施したりしているのであれば、それについて記載すべきである。

### ■特別活動・部活動の状況について

- ・生徒会活動の目指す方向性を記載すべきである。

## 3 学校経営の状況

### ■組織運営教職員研修の状況について

- ・高校の卒業式で皆勤賞が20人は多く良かった。さらに、2～3日程度の欠席の生徒に対して、精勤賞などを作って表彰することはでないのか。今後、中高通じて6年間皆勤賞など褒めることができる表彰の内容も検討してほしい。
- ・来年度以降も中高一貫校へ移行することで高校の教職員が多忙であるなどが考えられる。そのようなことに対しての解消策として、校務分掌の見直しを行うなどの改善策をどうしていくなどをここで記載した方が良いのではないか。
- ・先生方が一年間頑張ったことも記載してほしい、
- ・公開授業研究会などの成果の整理をしてほしい。次年度以降、授業力アップのための改善策を具体的に書いてほしい。それを評価のどこで確認するかを確認してほしい。

### ■教育目標等の設定・実施の状況について

- ・今年度を踏まえて次年度の学校運営の方向性を出してほしい。